

畑作の部

畑作科(長沼町)

I 気象概況

平成11年9月から平成12年11月中旬までの概況は次のとおりである。

平成11年

9月：気温は1ヶ月を通じ高く推移した。降水量は1ヶ月を通して少なかった。日照時間は上中旬にやや多かった。

10月：気温は中旬に低く、下旬は高かった。降水量は1ヶ月を通して少なかった。日照時間は中旬にやや少なかった。初霜は平年より10日早い10月15日であった。

11月：気温は下旬にやや高かった。降水量は上下旬に少なく、日照時間は下旬にやや多かった。

12月：気温は上中旬は低かった。降水量は上旬はやや多く、中下旬は少ない～やや少なかった。日照時間は上旬はやや少なく、中旬はやや多かった。根雪始は平年より4日早い12月3日であった。

平成12年

1月：気温は上旬にやや高く、下旬に低かった。降水量、日照時間は平年並であった。

2月：気温は中下旬に低かった。降水量は上旬に少なく、日照時間は上下旬にやや多かった。

3月：気温は上旬にやや高く、中下旬は低かった。降水量は下旬に多かった。日照時間は中下旬にやや少なかった。

4月：気温は下旬に低かった。降水量は上中旬にやや多い～多かった。日照時間は上旬にやや多く、中下旬は少なかった。根雪終は平年に比べ7日遅い4月11日で、積雪期間は12日多い130日であった。そのため耕鋤始は7日遅い4月26日であった。

5月：気温は1ヶ月を通して高く推移した。降水量は中旬に著しく多く、12～15日の4日間で169.5mmの降水量があった。日照時間は上下旬に少なかった。

6月：気温は中下旬にやや高く～高く、降水量は中旬に少なく、下旬は多かった。日照時間は中旬は多く、上下旬はやや少なかった。

7月：気温は1ヶ月を通じてやや高く～高く推移し、降水量は中下旬に多く、断続的に247.5mmの降水量があった。日照時間は中旬にやや少なかった。

8月：気温は1ヶ月を通じて高く推移し、降水量は上中旬が少なく、下旬に多かった。日照時間は中旬に著しく多かった。

9月：気温は中旬に高かった。降水量は上旬に多く、日照時間は上中旬にやや少なかった。

10月：気温は上旬は高く、中下旬は低く推移し、降水量は下旬に少なかった。日照時間は平年並であった。初霜および降雪始は10月18日で、平年と比べて初霜は5日、降雪始は17日、それぞれ早かった。

11月：気温は中旬に低かった。降水量は上旬は少なく、中旬はやや多かった。日照時間は平年並であった。

以上、農耕期間（4月～10月）の気象を要約すると、気温は全般を通じて高く推移し、積算平均気温で3,239℃と平年より178℃高かった。とくに最低気温が高く、積算最低気温は274℃高い2,493℃であった。また、降水量は5月中旬や7月中旬～下旬、8月下旬～9月上旬など著しく多い時期があり、農作業や作物の生育に影響を及ぼした。積算降水量では平年より410mm多い1,022mmであった。日照時間は4月中旬～6月上旬、8月下旬～10月中旬の期間に少なく、積算日照時間では88時間少ない897時間であった。

気象表

道立中央農試(アメダス長沼)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)			
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
平成11年	9月	上旬	21.6	19.0	2.6	26.4	23.2	3.2	17.5	15.1	2.4	14.0	41.5	-27.5	4.0	4.9	-0.9	61.3	50.4	10.9
		中旬	17.8	16.6	1.2	22.5	21.0	1.5	12.8	12.3	0.5	21.0	40.0	-19.0	4.0	3.8	0.2	55.7	47.8	7.9
		下旬	16.3	14.9	1.4	20.9	19.5	1.4	10.8	10.3	0.5	40.0	53.0	-13.0	3.0	5.2	-2.2	45.9	50.5	-4.6
10月	上旬	12.2	12.5	-0.3	17.1	17.3	-0.2	6.8	7.7	-0.9	30.0	40.7	-10.7	3.0	4.1	-1.1	49.5	51.5	-2.0	
		中旬	9.9	11.3	-1.4	14.6	16.2	-1.6	3.8	6.3	-2.5	9.0	31.3	-22.3	4.0	4.3	-0.3	35.0	49.1	-14.1
		下旬	10.6	9.0	1.6	14.7	13.7	1.0	6.4	4.2	2.2	17.0	37.0	-20.0	4.0	6.0	-2.0	44.5	50.5	-6.0
11月	上旬	5.9	6.3	-0.4	9.9	10.6	-0.7	2.3	1.7	0.6	7.0	28.4	-21.4	2.0	5.0	-3.0	34.2	39.1	-4.9	
		中旬	3.8	3.8	0.0	7.2	7.7	-0.5	-0.3	-0.2	-0.1	28.0	35.3	-7.3	5.0	5.5	-0.5	29.8	28.2	1.6
		下旬	3.2	2.4	0.8	7.3	5.7	1.6	-0.4	-0.9	0.5	5.0	27.3	-22.3	2.0	5.5	-3.5	41.1	30.8	10.3
12月	上旬	-1.7	0.1	-1.8	1.2	3.5	-2.3	-5.8	-3.7	-2.1	35.0	20.0	15.0	8.0	4.9	3.1	16.1	29.6	-13.5	
		中旬	-4.7	-3.3	-1.4	-0.5	0.0	-0.5	-9.1	-7.5	-1.6	5.0	33.2	-28.2	4.0	6.8	-2.8	38.4	28.0	10.4
		下旬	-3.8	-3.7	-0.1	0.3	-0.2	0.5	-9.4	-8.2	-1.2	19.0	30.9	-11.9	6.0	6.7	-0.7	38.0	30.3	7.7
平成12年	1月	上旬	20.0	-5.4	25.4	24.1	-1.7	25.8	17.3	-10.3	27.6	2.0	29.4	-27.4	1.0	5.9	-4.9	27.5	30.3	-2.8
		中旬	22.2	-5.9	28.1	25.9	-2.1	28.0	18.7	-11.4	30.1	5.0	25.4	-20.4	2.0	6.0	-4.0	23.9	32.4	-8.5
		下旬	19.5	-7.3	26.8	22.9	-3.1	26.0	16.5	-12.5	29.0	55.0	21.1	33.9	3.0	6.4	-3.4	6.3	45.9	-39.6
2月	上旬	22.2	-6.5	28.7	25.7	-2.3	28.0	19.5	-11.6	31.1	145.0	21.2	123.8	5.0	6.2	-1.2	8.3	40.9	-32.6	
		中旬	21.9	-5.0	26.9	27.2	-0.9	28.1	18.7	-10.1	28.8	42.0	24.6	17.4	3.0	6.5	-3.5	31.2	45.4	-14.2
		下旬	23.5	-3.6	27.1	27.6	0.6	27.0	20.8	-8.7	29.5	7.0	13.7	-6.7	2.0	4.2	-2.2	29.7	38.4	-8.7
3月	上旬	22.9	-3.5	26.4	26.3	0.8	25.5	20.5	-8.7	29.2	3.0	14.8	-11.8	1.0	4.6	-3.6	19.3	57.3	-38.0	
		中旬	21.9	-1.2	23.1	25.9	2.4	23.5	18.1	-5.6	23.7	32.0	12.9	19.1	2.0	4.6	-2.6	34.9	56.8	-21.9
		下旬	23.4	0.8	22.6	28.2	4.6	23.6	19.6	-3.5	23.1	0.0	19.8	-19.8	0.0	4.3	-4.3	39.9	63.9	-24.0
4月	上旬	22.9	3.6	19.3	26.6	7.8	18.8	20.0	-0.4	20.4	29.0	10.5	18.5	3.0	3.5	-0.5	13.9	52.3	-38.4	
		中旬	21.7	5.3	16.4	25.6	9.7	15.9	18.7	0.9	17.8	53.0	12.5	40.5	2.0	3.0	-1.0	32.3	52.4	-20.1
		下旬	20.4	8.1	12.3	24.8	13.0	11.8	16.9	3.4	13.5	62.0	33.6	28.4	3.0	4.7	-1.7	28.8	50.7	-21.9
5月	上旬	18.0	9.1	8.9	21.1	13.8	7.3	15.0	4.7	10.3	32.0	38.4	-6.4	3.0	4.9	-1.9	8.5	51.1	-42.6	
		中旬	17.5	11.2	6.3	19.8	16.2	3.6	15.7	6.7	9.0	43.0	26.8	16.2	5.0	4.2	0.8	5.8	51.3	-45.5
		下旬	21.1	12.8	8.3	25.3	17.5	7.8	16.6	8.7	7.9	5.0	29.9	-24.9	2.0	4.0	-2.0	26.9	59.0	-32.1
6月	上旬	16.0	13.5	2.5	20.6	17.7	2.9	11.8	10.1	1.7	35.0	18.4	16.6	2.0	3.9	-1.9	23.3	42.4	-19.1	
		中旬	14.6	15.7	-1.1	19.2	19.9	-0.7	10.7	12.4	-1.7	21.0	17.7	3.3	2.0	3.0	-1.0	22.6	40.9	-18.3
		下旬	15.2	16.6	-1.4	18.4	21.1	-2.7	12.4	12.9	-0.5	28.0	13.1	14.9	3.0	2.7	0.3	16.5	49.4	-32.9
7月	上旬	14.0	18.0	-4.0	18.6	22.1	-3.5	9.6	14.7	-5.1	0.0	35.8	-35.8	0.0	3.7	-3.7	15.0	38.9	-23.9	
		中旬	10.5	19.2	-8.7	14.9	23.3	-8.4	5.8	16.1	-10.3	10.0	25.4	-15.4	1.0	3.0	-2.0	19.2	41.4	-22.2
		下旬	7.8	21.1	-13.3	13.6	24.6	-11.0	2.1	18.5	-16.4	12.0	36.7	-24.7	2.0	4.6	-2.6	25.9	33.3	-7.4
8月	上旬	8.4	20.7	-12.3	14.0	24.6	-10.6	2.9	17.5	-14.6	1.0	56.0	-55.0	1.0	3.4	-2.4	25.0	41.6	-16.6	
		中旬	6.6	20.5	-13.9	11.3	24.0	-12.7	1.7	17.8	-16.1	0.0	53.4	-53.4	0.0	4.9	-4.9	26.4	29.5	-3.1
		下旬	9.0	20.6	-11.6	13.1	24.7	-11.6	4.1	17.2	-13.1	1.0	55.4	-54.4	1.0	3.8	-2.8	11.7	52.2	-40.5
9月	上旬	2.9	19.1	-16.2	6.7	23.5	-16.8	-0.9	15.1	-16.0	11.0	30.0	-19.0	4.0	4.9	-0.9	9.2	53.8	-44.6	
		中旬	-1.2	16.7	-17.9	1.4	21.1	-19.7	-3.9	12.3	-16.2	38.0	39.4	-1.4	4.0	3.8	0.2	14.8	48.0	-33.2
		下旬	0.9	15.1	-14.2	3.9	19.7	-15.8	-2.4	10.3	-12.7	8.0	54.5	-46.5	1.0	5.1	-4.1	23.0	48.6	-25.6
10月	上旬	-1.7	12.7	-14.4	1.6	17.4	-15.8	-4.8	7.8	-12.6	17.0	36.3	-19.3	5.0	3.8	1.2	10.3	49.9	-39.6	
		中旬	-2.3	11.1	-13.4	1.5	16.0	-14.5	-6.7	6.0	-12.7	6.0	29.8	-23.8	1.0	4.2	-3.2	22.0	48.5	-26.5
		下旬	-2.3	9.1	-11.4	1.5	13.8	-12.3	-6.7	4.4	-11.1	6.0	35.4	-29.4	1.0	5.5	-4.5	22.0	49.6	-27.6
11月	上旬	-4.2	6.2	-10.4	-1.2	10.5	-11.7	-7.4	1.7	-9.1	13.0	24.8	-11.8	4.0	4.8	-0.8	10.2	38.0	-27.8	
	中旬	-1.0	3.7	-4.7	2.2	7.6	-5.4	-4.3	-0.3	-4.0	4.0	31.4	-27.4	2.0	5.2	-3.2	103.6	27.7	75.9	

注1) データは「アメダス長沼」を使用。平年値は平成2年～11年の確定値を10年間平均し、本年値は平成12年の速報値を用いた。

注2) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

季節表

年次	根雪始 (年.月.日)	根雪終 (年.月.日)	積雪期間 (日)	降雪終 (年.月.日)	耕鋤始 (年.月.日)	晩霜 (年.月.日)	初霜 (年.月.日)	無霜期間 (日)	降雪始 (年.月.日)
----	----------------	----------------	-------------	----------------	----------------	---------------	---------------	-------------	----------------

本年	H11. 12.03	H11. 04.11	130	H12. 04.17	H12. 04.26	H12. 04.17	H12. 10.18	184	H12. 10.18
平年	12.07	04.04	118	04.12	04.19	04.30	10.23	176	11.04
比較	△ 4	7	12	5	7	△ 13	△ 5	8	△ 17

注) 平年値は中央農試における平成2年～11年の10年間の平均値を用いた。

農耕期間の積算値

期間	項目	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	降水量 (mm)	日照時間 (hr)
	4～10月	本年	3,239	4,115	2,493	1,022
平年		3,061	3,996	2,219	689	985
比較		178	119	274	333	△88
5～9月	本年	2,775	3,409	2,268	862	633
	平年	2,552	3,205	1,993	531	681
	比較	223	204	275	331	△48

II 作況

1. 秋まき小麦 作況：平年並

事由：播種は平年より1日早い9月10日に行い、播種後気温が高めに推移したため、出芽は順調で、また越冬前の生育も良好であった。根雪始は12月3日、供試圃場の根雪終は4月8日（融雪剤散布：平年4月1日）で、積雪期間は127日（同：平年115日）と長かったにもかかわらず、雪腐病の発病はほとんどなく、寒害による冬損が散見される程度であった。このため、越冬茎が平年より多かった。越冬後の気温はやや高温気味に経過したため、生育は旺盛で、草丈(稈長)および茎数(穂数)も平年並以上に経過し、一部の品種では倒伏がみられた。

高温傾向のため、出穂期は平年より1～4日早まり、また登熟日数が短くなり、成熟期は平年より3～4日早かった。千粒重は、高温の影響と平年より穂数が多かったことにより、平年より0.7～1.9g軽くなった。このため子実重は、穂数がかかり多かった「タクネコムギ」は平年対比123%の多収となったが、「ホロシリコムギ」および「ホクシン」はほぼ平年並となった。品質(等級)は、登熟不良と降雨による黒かび等の発生により、平年より劣った。

以上、本年の作況は品種によって傾向が異なるが、当地帯の主力品種が「ホクシン」であることから、平年並とする。

品種名 項目 \ 年次		ホロシリコムギ			タクネコムギ			ホクシン		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(H11.月.日)	9.10	9.11	△ 1	9.10	9.11	△ 1	9.10	9.11	△ 1
出芽期	(H11.月.日)	9.17	9.20	△ 3	9.15	9.20	△ 5	9.15	9.20	△ 5
出穂期	(H12.月.日)	6.09	6.11	△ 2	6.01	6.02	△ 1	6.03	6.07	△ 4
成熟期	(H12.月.日)	7.20	7.24	△ 4	7.15	7.18	△ 3	7.16	7.19	△ 3
冬損程度	(0:無～5:甚)	1.5	1.1	0.4	1.3	1.0	0.3	1.9	1.2	0.7
草丈 (cm)	H11.10.20	26.7	22.3	4.4	27.8	22.6	5.2	28.3	24.2	4.1
	H12.5.20	48.6	44.3	4.3	48.8	46.1	2.7	50.1	43.4	6.7
	H12.6.20	104	99	5	106	105	1	100	94	6
茎数 (本/㎡)	H11.10.20	1478	1022	456	1771	1112	659	1487	1124	363
	H12.5.20	1406	1124	282	1518	1210	308	1291	1193	98
	H12.6.20	657	635	22	938	791	147	739	728	11
成熟期 に おける	稈長(cm)	102	94	8	100	97	3	99	87	12
	穂長(cm)	8.5	8.3	0.2	7.6	7.6	0.0	8.3	8.1	0.2
	穂数(本/㎡)	602	516	86	910	649	261	726	604	122
子実重	(kg/10a)	457	468	△ 11	533	433	100	489	499	△ 10
リットル重	(g)	766	767	△ 1	767	786	△ 19	767	782	△ 15
千粒重	(g)	42.1	43.0	△ 0.9	37.3	38.0	△ 0.7	36.2	38.1	△ 1.9
品質	(等級)	2中	1下	—	2中	1下	—	2下	1	—
子実重平年対比	(%)	98	100	△ 2	123	100	23	98	100	△ 2

注) 平年値は前7か年中、平成5年(最凶)、6年(最豊)を除く5か年平均(各収穫年度)。

2. 春まき小麦 作況：不良

事由：播種は融雪後の不順な天候により遅れ、平年より15日遅い5月8日に行った。播種直後の降雨により出芽は早まり、平年より8日遅い5月15日に発芽期に達した。栄養生長期間は高温で降水量が少なくやや干ばつ気味に経過したため、出穂期は平年並の6月25日となり、栄養生長期間は平年より8日短くなった。成熟期は平年並の8月2日であった。収穫期に好天に恵まれたため、穂発芽がなく、等級は2等に格付けされるなど品質は良好であったが、栄養生長量の不足により、千粒重は平年よりやや重いものの、子実重は平年対比86%の214kg/10aにとどまった。

以上により、本年の作況は不良である。

品種名 項目 \ 年次		ハルユタカ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.08	4.23	15
出芽期	(月.日)	5.15	5.07	8
出穂期	(月.日)	6.25	6.25	0
成熟期	(月.日)	8.02	8.02	0
草丈 (cm)	5月20日	7.5	12.8	△ 5.3
	6月20日	52	60	△ 8
茎数 (本/m ²)	5月20日	339	308	31
	6月20日	633	676	△ 43
成熟期 における	稈長(cm)	75	81	△ 6
	穂長(cm)	8.4	8.6	△ 0.2
	穂数(本/m ²)	416	410	6
子実重	(kg/10a)	214	248	△ 34
リットル重	(g)	779	752	27
千粒重	(g)	36.8	36.1	0.7
品質	(等級)	2中	等外	—
子実重平年対比	(%)	86	100	△ 14

注) 平年値は前7か年中、平成5年(最豊)、8年(最凶)を除く5か年平均。

3. 大豆 作況：良

事由：播種期は平年並であった。播種後降雨があり、気温は平年より高く経過したため出芽期は平年より3日程度早かった。6月上～中旬にかけて降水量が平年より少なく、干ばつ気味であったため生育がやや停滞したが、6月下旬から7月中旬にかけて高温に推移し、「ツルムスメ」の開花期は平年より4日早く、生育は促進された。6月下旬及び7月中旬の多雨により「ユウヅル」は湿害、茎疫病による欠株が多発したため7月20日以降の「ユウヅル」は参考成績とした。開花期以降、気温は平年並～高温に推移したため登熟は進み、「ツルムスメ」の成熟期は平年より7日早かった。成熟期の「ツルムスメ」の主茎長は平年よりやや長く、主茎節数はほぼ平年並、分枝数はやや少なかった。莢数は平年並、一莢内粒数は平年よりやや多く、百粒重はやや重く、子実重は平年より14%多かった。屑粒率はほぼ平年並であるがしわのため落等し、品質（検査等級）は平年よりやや劣った。

以上により、本年の作況は良である。

品種名 項目 \ 年次		ツルムスメ			ユウヅル		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.23	5.22	1	5.23	5.22	1
出芽期	(月.日)	6.04	6.04	0	6.03	6.06	△ 3
開花期	(月.日)	7.18	7.22	△ 4	(7.28)	7.30	△ 2
成熟期	(月.日)	9.22	9.29	△ 7	(10.13)	10.13	0
主茎長 (cm)	6月20日	8.1	10.5	△ 2.4	8.5	9.0	△ 0.5
	7月20日	52.6	37.0	15.6	(44.5)	32.8	11.7
	8月20日	55.0	51.9	3.1	(75.9)	67.4	8.5
	9月20日	56.0	52.5	3.5	(76.5)	68.3	8.2
	成熟期	57.4	51.9	5.5	(77.4)	67.9	9.5
主茎節数 (節)	6月20日	3.4	3.4	0.0	2.9	3.0	△ 0.1
	7月20日	12.1	9.2	2.9	(11.4)	8.8	2.6
	8月20日	12.5	12.5	0.0	(15.6)	14.6	1.0
	9月20日	12.4	12.8	△ 0.4	(15.7)	15.0	0.7
	成熟期	12.6	12.8	△ 0.2	(16.1)	14.7	1.4
分枝数 (本/株)	7月20日	5.6	3.9	1.7	(3.2)	2.7	0.5
	8月20日	4.9	5.4	△ 0.5	(4.7)	5.8	△ 1.1
	9月20日	4.6	5.5	△ 0.9	(4.3)	5.8	△ 1.5
	成熟期	4.2	5.9	△ 1.7	(3.8)	5.9	△ 2.1
着莢数 (莢/株)	9月20日	49.1	49.7	△ 0.6	(58.7)	59.9	△ 1.2
	成熟期	48.2	50.0	△ 1.8	(67.6)	59.3	8.3
一莢内粒数		2.07	1.92	0.15	(1.90)	1.86	0.04
子実重	(kg/10a)	367	323	44	(425)	366	59
百粒重	(g)	45.6	44.4	1.2	(45.5)	43.7	1.8
屑粒率	(%)	1.8	1.1	0.7	(2.1)	1.6	0.5
品質	(等級)	3下	3上	—	(特加)	3上	—
子実重平年対比	(%)	114	100	14	116	100	16

注1) 平年値は前7か年中、平成5年(最凶)、6年(最豊)を除く5か年平均。平成8年の「ツルムスメ」の出芽期は未達、主茎長及び主茎節数は欠測のためそれぞれ4か年平均。

2) 「ユウヅル」は6月下旬、7月中旬の多雨により湿害・茎疫病による欠株が多発し、7月20日以降は参考成績とする。

3) 子実重及び百粒重は水分15%換算値。

4) 検査等級の特加は特定加工用。

4. 小豆 作況：不良

事由：播種期は平年に比べ3日遅れ5月23日であった。出芽後高温少雨に推移したため、やや干ばつがみで生育が停滞したが、その後も高温が継続し、降雨もあったため7月中旬には生育は回復し、開花期も4日早い7月21日であった。7月中旬～下旬に250mm近い降雨があり、その後気温が高かったことから湿害、茎疫病が発生し、生育は著しく停滞した。また、気温が高かったことから登熟期間が短くなり、成熟期は平年に比べ10日早い8月26日となった。収量構成要素の中で一莢内粒数は平年並であったが、主茎長など生育量が劣ったため莢数は少なくなり、登熟期間が高温に推移したため百粒重も小さかった。そのため子実重は平年比70%の158kg/10aと低収であった。ただし、成熟期前後は好天であったことから雨害粒等の腐敗粒が少なく、屑粒率は低かった。

以上により、本年の作況は不良である。

品種名 項目 \ 年次		エリモシヨウズ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.23	5.20	3
出芽期	(月.日)	6.09	6.08	1
開花期	(月.日)	7.21	7.25	△ 4
成熟期	(月.日)	8.26	9.05	△ 10
主茎長 (cm)	6月20日	2.9	5.0	△ 2.1
	7月20日	26.4	17.2	9.2
	8月20日	30.5	43.0	△ 12.5
	成熟期	29.9	41.4	△ 11.5
主茎節数 (節)	6月20日	1.1	1.6	△ 0.5
	7月20日	9.9	7.4	2.5
	8月20日	11.1	12.1	△ 1.0
	成熟期	10.3	11.7	△ 1.4
分枝数 (本/株)	7月20日	2.4	1.8	0.6
	8月20日	2.0	3.1	△ 1.1
	成熟期	1.8	2.9	△ 1.1
着莢数 (莢/株)	8月20日	28.4	33.1	△ 4.7
	成熟期	27.5	39.5	△ 12.0
一莢内粒数		6.45	6.64	△ 0.19
子実重	(kg/10a)	158	225	△ 67
百粒重	(g)	10.3	11.8	△ 1.5
屑粒率	(%)	1.0	2.5	△ 1.5
品質	(等級)	3上	2下	—
子実重平年対比	(%)	70	100	△ 30

注) 平年値は前8か年中、平成5年(最豊)、6年(最凶)および8年(茎疫病多発)を除く5か年平均。

5. ばれいしょ 作況：やや良

事由：4月中旬～5月上旬の不順な天候により、植付期は平年より9日遅い5月12日であった。植付直後に170mmの局地的な大雨があり、その後の圃場は過湿で土壌表面が硬く固結した状態で経過した。このため、種いもが腐敗したり、萌芽ムラが生じた。6月中旬以降の高温・多照により、生育は急速に回復し、開花始は平年より4～5日早い6月22日～23日となった。7月下旬に188mmの多雨があり、圃場は過湿状態で経過したため、地上部は軟弱な生育を示し、塊茎腐敗の発生がやや目立った。8月上旬以降9月上旬まで高温に経過したため、枯凋期は平年よりやや早まり、「男爵薯」が2日早い8月21日、「農林1号」が平年並の9月15日で、両品種とも塊茎肥大が不良で、でん粉の蓄積も劣った。このため、両品種とも、上いも1個重は平年よりやや小さく、でん粉価は平年値より2%以上も下回わり、「農林1号」の上いも収量は、平年より3%下回った。しかし、「男爵薯」の上いも収量は、上いも数が平年より多かったため、平年より11%多収となった。

以上により、両品種を平均して、本年の作況はやや良である。

項目 \ 年次		男爵薯			農林1号		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
植付期	(月.日)	5.12	5.03	9	5.12	5.03	9
萌芽期	(月.日)	5.28	5.27	1	5.28	5.27	1
開花始	(月.日)	6.22	6.27	△ 5	6.23	6.27	△ 4
枯凋期	(月.日)	8.21	8.23	△ 2	9.15	9.15	0
茎長 (cm)	6月20日	27	27	0	33	30	3
	7月20日	39	40	△ 1	70	55	15
	8月20日	—	—	—	70	62	8
茎数	6月20日	6.0	4.4	1.6	6.3	4	2.3
	7月20日	6.5	4.1	2.4	5.9	4.1	1.8
	8月20日	—	—	—	5.8	4.1	1.7
8月20日における							
上いも数	(個/株)	9.6	8.5	1.1	9.0	9.2	△ 0.2
上いも平均一個重	(g)	85	94	△ 9	87	93	△ 6
上いも重	(kg/10a)	3,618	3,546	72	3,465	3,822	△ 357
でん粉価	(%)	13.3	15.1	△ 1.8	15.6	16.8	△ 1.2
枯凋期における							
上いも数	(個/株)	10.3	9.1	1.2	9.5	9.5	0.0
上いも平均一個重	(g)	81	87	△ 6	99	102	△ 3
上いも重	(kg/10a)	3,702	3,327	375	4,158	4,275	△ 117
中以上いも重	(kg/10a)	2,973	2,721	252	3,679	3,760	△ 81
でん粉価	(%)	12.9	15.4	△ 2.5	14.2	16.5	△ 2.3
でん粉重	(kg/10a)	441	479	△ 38	549	663	△ 114
上いも重平年対比	(%)	111	100	11	97	100	△ 3
中以上いも重	" (%)	109	100	9	98	100	△ 2
でん粉重	" (%)	92	100	△ 8	83	100	△ 17

注) 平年値は前7か年中、平成6年(最凶)、9年(最豊)を除く5か年平均。

6. てんさい 作況：不良

事由：播種期は3月27日で平年より7日早かったが、4月中旬～5月上旬の不順な天候により、移植期は5月11日と平年より5日遅かった。このため、育苗期間は平年より12日間も長くなり、移植時の苗は徒長気味であった。移植直後に170mmの局地的大雨があり、圃場状態は過湿で、土壌表面が硬く固結した状態のまま経過した。6月中旬以降の高温・少雨により一時的に生育は平年並に回復したが、干ばつ気味の生育を示した。その後7月初旬の一時的な降雨により生育不良個体の発生が見られるようになり、7月下旬の188mmの多雨により湿害が顕著となった。さらに、8月下旬～9月中旬の225mmの多雨により根腐れ株の発生が認められるようになった。8月上旬以降の高温・多雨により根部肥大と糖分蓄積が劣ったため、根重は平年比87%と大きく下回り、根中糖分も15.42%と著しく低かった。その結果、糖量では平年比81%と著しい低収となった。

以上により、本年の作況は不良である。

品種名(栽培法) 項目 \ 年次		モノホマレ(移植)		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	3.27	4.03	△ 7
移植期	(月.日)	5.11	5.06	5
収穫期	(月.日)	10.13	10.12	1
草丈 (cm)	5月20日	8.9	5.0	3.9
	6月20日	20.6	19.6	1.0
	7月20日	38.7	48.2	△ 9.5
	8月20日	45.6	56.5	△ 10.9
	9月20日	47.9	56.4	△ 8.5
	収穫期	46.3	54.4	△ 8.1
葉数 (枚)	5月20日	4.1	2.9	1.2
	6月20日	18.9	21.6	△ 2.7
	7月20日	20.6	19.6	1.0
	8月20日	24.7	23.8	0.9
	9月20日	29.8	29.6	0.2
	収穫期	29.9	26.3	3.6
根周 (cm)	7月20日	18.9	21.6	△ 2.7
	8月20日	26.2	29.5	△ 3.3
	9月20日	30.9	33.2	△ 2.3
	収穫期	31.4	34.5	△ 3.1
茎葉重	(t/10a)	1.78	3.75	△ 1.97
根重	(t/10a)	6.45	7.39	△ 0.94
根中糖分	(%)	15.42	16.65	△ 1.23
糖量	(kg/10a)	996	1232	△ 236
根重平年対比	(%)	87	100	△ 13
根中糖分平年対比	(%)	93	100	△ 7
糖量平年対比	(%)	81	100	△ 19

注) 平年値は前8か年中、平成5年(欠測)、10年(最豊)、11年(最凶)を除く5か年平均。